

月刊



平成30年5月1日発行 通巻268号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・総務企画委員会 2
平成30年度 通常総会開催のご案内
- ・建築士試験運営チーム
平成30年一級建築士試験案内
- ・女性委員会 3
DoシリーズNo.76
～素を知る～
「芸術の域にまで高められた匠の技から学ぶ」報告
- ・青年委員会 4
異業種交流事業報告
～客室乗務員に学ぶファーストクラスの
接客マナー～
- ・青年委員会
異業種交流事業報告
トラブル事例に学ぶ安心・安全な滋
賀の家づくりセミナー
- ・青年委員会
あいき塾 まち歩き事業
～Around Shiga vol.4 草津～報告
- ・地区だより 5
新入会員のご紹介
- ・ポリテクカレッジからのお知らせ .. 6
地区別会員数
5月の暦
滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて
第23回
山路酒造 有限会社 (長浜市木之本町)



山路酒造 有限会社 酒蔵全景

山路酒造は、JR木ノ本駅から徒歩5分、木之本地蔵院から北へ250mのところにある1532年(天文元年)創業、長浜市木之本町の酒蔵である。創業は滋賀県内で最も古く、全国的にも5番目に古いと言われる。蔵は北陸と京都を結ぶ北国街道旧木之本宿にあり、近くにある七本鎗の富田酒造や周辺地域は歴史風情と情緒溢れる街並みを今も感じる事ができる。蔵の看板商品「桑酒」は桑の葉を漬け込んだリキュールであり、街道をゆく旅人の疲れを癒し、島崎藤村が愛飲したことで知られる。独特の甘みとこくが特長で、オンザロックや炭酸割りでも楽しめ、最近は桑酒モヒートが人気という。桑酒はかつて各地で造られていたというが現在はとても希少な存在である。

写真は昭和初期に建てられた木造の母屋兼店舗である。店舗内部に入ると太い柱と梁で構成された重厚な骨組みに圧倒される。この店舗から中の土間を抜けると、奥の別棟が仕込み場である。敷地は角地にあり仕込み場から直接道路へアクセスすることができる。母屋の奥に見えるのは脇本陣・伝馬所跡の門であり、江戸末期には伝馬所取り締まりとして人馬を検閲したという。

山路酒造の特徴は製品ごとにタンクが異なること。タンク一本に一銘柄を造るスタイルで、ブレンドして味を整えることをせず、生酒と火入れ酒の違いで商品を分けることもせず、その年の味わいをストレートに楽しめる。地元産の酒造好適米 玉栄と、米原産の酒造好適米 山田錦を主に使用し、敷地内の地井戸から汲み上げられた伊吹山系伏流水で仕込まれている。

(前谷吉伸)

平成30年度 通常総会開催のご案内

本年度の通常総会を下記の通り開催致しますので、ご出席頂きますようお願い致します。
尚、**会員の皆さまには、別途ご案内を送付させて頂きます。**詳細はそちらをご覧ください。

●開催日：平成30年5月26日(土)

●開催時間：受付 14:00～ 総会 15:00～16:50 懇親会 17:00～19:00

※懇親会にご出席の方は、参加費6,000円をお支払願います。

●開催場所：「琵琶湖マリオットホテル」 2F「大会議室」

(旧名称：ラフォーレ琵琶湖)

滋賀県守山市今浜町十軒家2876 TEL. 077-585-6100

会場までの交通手段は別途「総会案内」を送付させて頂きますのでそちらをご覧の上、
お越しくださいます様よろしくお願いたします。

懇親会に参加される方はお車でのご来場はご遠慮ください。

●申込締切：平成30年5月17日(木) ※返信ハガキ必着

※ご出席の有無を必ず別途「総会案内」の返信はがきにてお知らせください。

(ご欠席の方は委任状をお出しください。)

平成30年一級建築士試験案内

一級建築士試験は、建築士法第13条の規定に基づいて、国土交通大臣により行われるものです。

試験の実施に関する事務は、建築士法第15条の2第1項の規定に基づき、国土交通大臣から中央指定試験機関の指定を受けた公益財団法人建築技術教育普及センター（以下、「センター」という。）が行います。受験申込に関しての不明な点は、センター又は住所地の都道府県に設立されている一般社団法人又は公益社団法人の建築士会（以下、「都道府県建築士会」という。）へお問い合わせ下さい。

受付場所における受付

受付期間：平成30年5月10日(木)～5月14日(月)（土・日曜日を含む。）

都道府県庁所在地等に設ける受付会場で上記の5日間の受付を行うほか、一部の都道府県については、その他の地域に上記期間のうち、土・日曜日を除く1日又は2日間の受付会場を設けています。

受付時間：午前10時～午後5時

受付場所：住所地の都道府県建築士会が指定する場所（住所地以外の受付場所では一切受け付けません。）

なお、センター指定の払込用紙により、あらかじめ受験手数料を納付したのち、受験申込書を受付場所に持参して下さい。（証明書類等の確認を行いますので、原則として、本人が持参して下さい。）

受験手数料 19,700円（他に、払込手数料が必要です。）

センター指定の払込用紙により、ゆうちょ銀行、郵便局又は指定の銀行で納付して下さい。なお、一旦納付された受験手数料は、センターの責により試験を受けることができなかった場合を除き、返還されません。

必ず提出する書類（すべての受験申込者が提出しなければならない書類）

①受験申込書

②振替払込受付証明書

③写真2枚（無帽・無背景・正面上3分身、本人のみを写し、試験時に本人確認ができる鮮明な写真【縦5.5cm、横4.0cmで、受験申込前6カ月以内に撮影したもの】）注

(注) 合格者の写真等は、国土交通省又は中央指定登録機関に提供する場合があります。また、「設計製図の試験」の合格通知書に写真が印刷され、建築士免許登録時の本人確認に利用されますので、**鮮明な写真で、写真2枚は必ず同じものとしてください。**（スナップ写真等で本人確認が困難なものは、写真の差し替えが必要となります。不鮮明な写真は試験時間内の本人確認に時間を要するとともに、身分証明書の提示を求める場合がありますのでご注意ください。）

3月17日(土)～18日(日)、22名の参加者と共に静岡県加茂郡松崎町を訪れ、漆喰鏝絵の名人である入江長八の作品見学を中心とした一泊研修を行いました。

研修1日目、まず立ち寄ったのは、掛川市にある資生堂企業資料館と資生堂アートハウス。企業資料館では資生堂がこれまでに生み出した様々な商品や広告等を興味深く鑑賞しました。そして広大な芝生の敷地に建つアートハウスは、展示物も素晴らしいうえに建物自体の持つ美しさに見惚れてしまいました。

次に訪れたのは、東海道の宿場町のひとつ、由比宿です。東西600mほどの小さい宿場町ですが、ガイドさんのほのほのとした語りを聞きながら町並みを散策し、東海道広重美術館では、展示期間限定の囲碁が描かれた浮世絵作品を楽しむことができました。

そして研修2日目、ようやく目玉となる松崎町での研修が始まりました。役場の一室をお借りして、町の職員さんや左官職人さんにより、現在町内に189棟残るなまこ壁の建造物保存の取り組みについて説明を受けました。持ち主の事情で解体せざるを得なくなった建物から漆喰で描かれた鏝絵を切り取ったり、一般参加型の鏝絵コンクールを開くなど様々な工夫をされており、伝統的建造物を保存していくことの難しさや、伝統技術を後世につなげてゆくことの大事さを再確認した思いでした。その後、町へ出て通りに面する壁一面、破風にまでなまこ壁を施された建物、また建物の一部に描かれた龍や鶴亀などの鏝絵を見て歩き、「長八記念館（浄感寺）」では、入江長八の描いた迫力ある「雲龍図」や「飛天の像」に描かれた天女の美しさに目を奪われました。また石山修武氏の設計で、全国各地から優能な技能者が集まって左官施工を行ったという「伊豆の長八美術館」では、拡大鏡を用いながら鏝絵の緻密な細工を堪能しました。江戸末期に描かれ、今もなお鮮やかな色彩を放つ作品を真直にみることは大変貴重な経験となりました。

前年度行った左官ワークショップから今回の漆喰鏝絵技術の学びへと、「素を知る」ための継続した研修を行うことができました。これからも、継続事業を展開し、それぞれのスキルアップに繋げて行ければと思います。



資生堂アートハウス前で全員集合



松崎町中瀬邸 見学



長八記念館（浄感寺）雲龍図



なまこ壁通り

異業種交流事業報告
～客室乗務員に学ぶファーストクラスの接客マナー～

彦根地域会協力のもと、グランドデュークホテルにおいて、平川直央子氏を講師にお招きし、建築士のための接客講習を開催しました。18名の参加者とともに、身につけておきたい「愛されマナー学」と会食時におけるマナーを学びました。

マナーとは、礼儀、行儀、作法のことであり、人間関係を円滑にするためのルールであるということを改めて教えていただきました。人間の第一印象は3～7秒で決まる、その決定要素は表情、笑顔、身だしなみ、さわやかさ等が挙げられるといます。その第一印象をより良いものにするために、割りばしストレッチやネクタイの選び方を学び、魅力的な自分づくりを実践的に習得しました。第二部として、実際に食事をしながら、会食マナーのポイントを教えていただきました。今回は機会が多い和食についてのマナーを学びました。

単に講義形式で聞くだけのものより、料理を前に実践で教えていただけだったので、わかりやすく、楽しい時間を過ごせました。建築士の地位向上へ、まずは自分たちの意識の向上につながる時間になりました。

青年委員 上田洋平



会食マナーの学習風景

異業種交流事業報告
トラブル事例に学ぶ安心・安全な滋賀の家づくりセミナー

大津市ふれあいプラザ5階大会議室で、一般市民向けセミナー『トラブル事例に学ぶ安心・安全な滋賀の家づくり』を開催しました。あいにくの天気にもかかわらず、41名の方々にご参加いただきました。今回のセミナーはわれわれ建築士と弁護士の協力事業で、家づくりに対して気をつけるポイントを両士の異なる視点から市民のみなさまに説明する内容でした。建築士側の講師には、青年委員の岡村浩樹さんと山崎龍太さんを抜擢し、立派に重責を全ういたしました。

司会の進行によりスクリーンに映しだされた質問を、建築士・弁護士が答えていくという形式でセミナーを進めました。家を建ててみないとわからない設計図や工事の様子を写真を交えて説明し、熱心に耳を傾けていただけました。セミナーの最後には質疑応答の時間をもうけ、いくつかの質問もあり、セミナー終了後も個別に相談をしておられる方もおられました。

建築士と弁護士がお互いの立場を知り、それぞれの職務で社会貢献していることを実感できた異交流事業になりました。

青年委員 中村民雄



講師の話に耳をかたむける参加者

あーき塾
まち歩き事業 ～Around Shiga vol.4 草津～報告



3月24日(土)に、まちあるき事業～Around Shiga vol.4 草津～を開催しました。

穏やかな春の日差しの中、くさつ夢本陣に集まった14名の参加者にてまちあるきをスタート。「草津といえば！」の天井川まで歩き、新しく公園整備された草津川にて川の成り立ちや地域住民による河川利用についての説明、そして、草津川マンボ横にある東海道と中山道の分岐の道標についての説明を受けました。当日は草津川跡地公園にてイベントが催されており親子連れで賑っていました。

次に国指定史跡の草津宿本陣を見学し、数少ない現存している本陣の建物および内部資料について学びました。登録有形文化財の魚寅楼へ寄り、外観の見学をしました。草津市役所職員より、吉川芳樹園と万善の、市の助成金による改修工事の説明や内部の見学をさせていただきました。

立木神社では、神社の沿革や祭神について説明を受け、1250年祭に合わせて行った社殿まわりの改修工事について詳しくお聞きしました。最後となった太田酒造では道灌蔵の外観を見学し、試飲を行いお土産を片手にくさつ夢本陣へと向かい全行程を終えました。

青年委員 中嶋裕典



立木神社宮司から説明を聞く

湖南地区

京都大山崎研修報告

1月24日(水)に会員、賛助会員を対象として『京都大山崎研修』を開催し参加者人数23名となる大変にぎやかで楽しい研修を行いました。

京都大山崎に位置する『聴竹居』と『大山崎山荘美術館』を見学研修してまいりました。

『聴竹居』は今から90年程前に建築家 藤井厚二の5回目に建築した自邸で「真に日本の気候・風土にあった日本人の身体に適した住宅」を追求して建築された住宅で、立地を生かした眺望と環境熱を積極的に取り入れられた現代の住宅にも参考となる工夫があり非常に勉強になる興味深い建物でした。

『大山崎山荘美術館』においては大正から昭和初期に建てられたハーフティンバー様式の外観。隣接

の『地中館 地中の宝石箱』は、建築家 安藤忠雄設計の新棟で、安藤建築の特徴であるコンクリート打放し仕上げとなっており、山の地形を生かした展示室がありゆったりと時が流れる空間づくりのされた建物でした。



聴竹居にて参加者全員集合

湖北地区

平成29年度 第5回 勉強会 「保険事故に学ぶ予防策と実例に学ぶ 建築士事務所のトラブル回避」 報告

3月26日(月)、長浜駅近くの浜湖月において、建築士のための勉強会「保険事故に学ぶ予防策と実例に学ぶ建築士事務所のトラブル回避」を開催いたしました。

30名の参加者とともに、知っておきたい「保険事故の予防および回避方法」を学びました。

今回講師として、日事連サービスの中川孝昭顧問にお越しいただき、さまざまな事故事例を基にトラブルの原因を解説していただきました。

著名な建築家でも基本的なことを知らなかったりすることや、既存不適格にかかる責任範囲の問題、輸入部材に関するPL法など、知っておくことで事故を防ぎやすくなる内容でした。

建築設計に携わるうえで今回の勉強会はとても有意義なものになったと思います。



大村代表挨拶



中川講師と講義に聞き入る参加者

新入会員のご紹介

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
大津	西村 利寿	湖南	畠中 美咲	甲賀	佐治 朋佳	湖北	篠田 宏行	湖東	大槻 香南子
	中川 大輝		大島 朋也	彦根	殿村 明彦		桐畑 伊織		矢崎 勇登
	福見 克洋		山本 菜穂子		宮師 麻希		藤田 泰蔵		野田 進
	堀江 ひかり		小池 僚子	湖北	溝口 雅之	山本 大介	奥長 真生人		
	佐竹 理紗	甲賀	藤田 裕介		大野 義人	湖東	長谷川 幸司		

滋賀職能大（ポリテクカレッジ）からのお知らせ



コースNo	コース名	受講料	定員	実施日	講習時間帯
CH011	ネットワーク工程管理技術	¥7,000	10	7/10(水)、13(土)	9:30~16:30
CH021	実践建築一般図・詳細図作成技術 (2次元CAD: AutoCAD編)	¥7,000	10	7/24(火)、25(水)	9:30~16:30
CH031	3次元CADを用いた建築設計プレゼンテーション (3次元CAD: Autodesk Revit編) New	¥8,000	10	8/17(金)、18(土)	9:30~16:30
CH041	木造住宅における結露防止を考慮した断熱・気密設計法	¥7,000	10	7/26(木)、27(金)	9:30~16:30
CH051	木造住宅の省エネ設計技術	¥8,000	10	9/14(金)、15(土)	9:30~16:30

各講座ともCPD認定プログラム申請コースです。

お申し込みは各コースとも開始日の1カ月前までです。お早めにお申し込み下さい。

講座の内容については

http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_h29.html

(電子パンフレット、建築・住宅関係コース、各講座の詳細へのリンクもあります)

ネットでの受講申し込みは

http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_form_mousikomi.html

受講申込書のダウンロードは

<http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/pdf/H29/entry2017.pdf>

「オーダーセミナー」のご相談を承ります。

職場やグループ単位での独自研修会「オーダーセミナー」の企画立案のお手伝いをいたします。下記「学務援助課」までお問い合わせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
〈厚生労働省所管〉近畿職業能力開発大学校附属
滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)

www3.jeed.or.jp/shiga/college/

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課

TEL: 0748-31-2254

FAX: 0748-31-2255

地区別 会員数 平成30年 4月1日現在	支部	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	湖西滋賀	計
	3月	207	152	79	118	90	131	66	27	870
	4月	204	150	78	115	89	129	65	26	856
	差引	▲ 3	▲ 2	▲ 1	▲ 3	▲ 1	▲ 2	▲ 1	▲ 1	▲ 14

5月の暦

1	火	赤口		11	金	仏滅		23	水	赤口	
2	水	先勝					湖西滋賀地区委員会総会	24	木	先勝	
3	木	友引	憲法記念日	12	土	大安	甲賀地区委員会総会	25	金	友引	
4	金	先負	みどりの日				湖北地区委員会総会				平成30年度滋賀県建築士会
5	土	仏滅	こどもの日	13	日	赤口		26	土	先負	「通常総会」(琵琶湖マリ
6	日	大安		14	月	先勝	女性委員会				オットホテル)
7	月	赤口		15	火	仏滅		27	日	仏滅	
8	火	先勝		16	水	大安		28	月	大安	
9	水	友引	四役会 理事会	17	木	赤口		29	火	赤口	
				18	金	先勝		30	水	先勝	総務企画委員会 渉外事業委員会
10	木	先負	平成30年度一級建築士試験 「対面受付」(~14日)	19	土	友引	彦根地区委員会総会	31	木	友引	
			既存住宅状況調査技術者講 習「移行」	20	日	先負					
				21	月	仏滅					
				22	火	大安					

滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて 第23回 山路酒造 有限会社 (長浜市木之本町)

写真は明治築と言われる母屋の奥にある木造2階建ての仕込み蔵の内部である。写真の1階には仕込みタンクが並び、桑酒用のタンクもある。総檜造りだと言われ、梁や柱は太く、土壁は1階のみ漆喰が施され清潔に保たれている。コンパクトに保たれて、仕込みや貯蔵には最適な環境にある。しかしながら敷地は伊吹山からの斜面にあり、最も奥の高いところに麹室と压榨室、一つ下がつてこの仕込み蔵、また下がつて蒸し放冷場となっており、いくつもの段差と最北端の厳しい寒さの中で手間暇かけた酒造りが行われている。

代表銘柄「北国街道」桑酒

(前谷吉伸)

